

〈サーブ15・15D〉の試験結果の一例

試験項目	試験方法	試験結果		備考
		サーブ15	サーブ15D	
練混ぜ水量		16%	16%	(水/サーブ15・15D) 質量比
単位容積質量	JIS A 1171	2.05	2.15	練上り時に測定
圧縮強さ (N/mm ²)	JIS R 5201	25.3 35.1	50.6 60.8	4×4×16cm 供試体使用
7日 28日				
曲げ強さ (N/mm ²)	JIS R 5201	6.1 8.2	6.4 8.7	4×4×16cm 供試体使用
7日 28日				
付着強度 (N/mm ²)	建研式付着試験装置 (下地: コンクリート版)	2.0 2.4	2.2 2.5	破断位置: 材料凝集破壊 破断位置: 下地コンクリート破壊
7日 28日				
静弾性係数 (N/mm ²)	JIS A 1149	1.40×10 ⁴	2.7×10 ⁴	φ10×20cm 供試体使用
硬化収縮率 (%)	JHS-416	0.04	0.04	断面修復材の品質規格による
4週				
熱膨張係数 (1/°C)	JHS-416	1.5×10 ⁻⁵	1.4×10 ⁻⁵	断面修復材の品質規格による

※上記は社内試験室(20°C)での測定値であり、品質保証値ではありません。

[施工上の注意]

- 練混ぜ水には水道水または、これに準じる清浄な水を使用して下さい。
- サーブ15・15Dのコンシステンシーは気温などにより変化しますので、あらかじめ試験練りを行い、練混ぜ水量を決定して下さい。
- サーブ15・15Dはプレミックス材料ですので、袋単位で使用して下さい。
- 採暖が不可能なら5°C以下の低温での施工は避けて下さい。
- 1回の施工厚さは施工面の状態などにより異なりますが、最大30mmを目安にして下さい。
- ポンプ圧送により吹付けを行う場合には、ホース内にあらかじめセメントミルクを通し、施工を行って下さい。
- サーブ15・15Dは、水、湿気の少ない場所に保管し、開封後は早めに使用して下さい。

[使用上の注意]

- 目、皮膚への接触を防ぐために、保護メガネ、保護手袋などの保護具を着用して下さい。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに眼科医の手当を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流して下さい。

※本資料に記載した技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するための、いわゆる「参考値」であり、保証を意味するものではありません。

※本製品の不適正な使用等によって生じる損害につきましては責任を負いかねますのでご了承下さい。

※本資料の記載内容は、予告無しに変更する場合がありますので、あらかじめご了承願います。

 **リーマテック株式会社**
Reliable Materials & Technology <http://www.rematech.co.jp>

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7F
TEL:092-415-3555 FAX:092-415-3557

サーブ 15・15D

コンクリート構造物の補修・補強材
サーブ15・15D



コンクリート構造物の補修・補強をサポート。

〈サーブ〉は、高機能性特殊粉末樹脂及び特殊短繊維をプレミックスした特殊無機系パウダーからなるポリマーセメントモルタルです。吹付け・コテ塗り両用タイプで、さまざまなシーンで活躍します。



サーブ15
荷姿
20kg/袋



サーブ15D
荷姿
20kg/袋

01 | サーブの特徴

●簡単な混練作業

現場で所定量の水と混練するだけで、安定した性状のポリマーセメントモルタルを製造することができます。

●優れた施工性

吹付け施工時のね返し及びダレがなく、天井面において最大30mmまで一度に厚付けが可能です。また、吹付け施工後の左官仕上げが容易で、良好な仕上がり面が得られます。

●高いひび割れ抵抗性

高機能性特殊短繊維を配合しているため、乾燥や衝撃などによるひび割れに対して高い抵抗性を示します。

●優れた付着性

付着性に優れ、既設コンクリートとの一体化が図れます。

●優れた耐久性

特殊無機系材料を主成分としているため、長期にわたって安定した性能を発揮し、耐久性、耐候性に優れています。

02 | サーブの用途

〈サーブ15〉

●橋梁床版・桁などの増厚補強工事

耐力の不足した構造物に補強材を組合わせて増厚補強することにより耐力を向上させます。橋梁床版下面・桁など供用中の増厚工法に適しています。

〈サーブ15D〉

●RC橋脚などの耐震補強工事

鉄筋やFRPグリッドなどの補強材と組合わせて巻立てることにより耐震性能を向上させます。

●トンネル・カルバートボックスなどの増厚補強工事

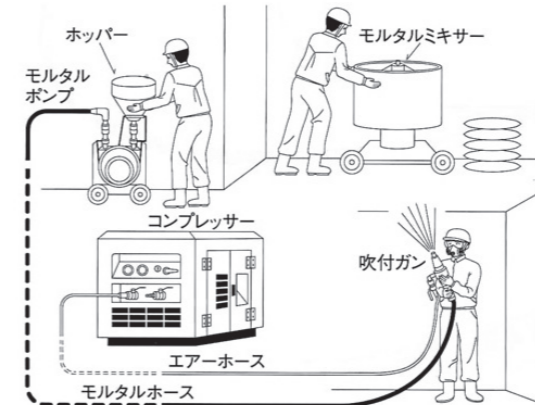
耐力の不足した構造物に補強材を組合わせて増厚することにより耐力を向上させます。

●コンクリート構造物の劣化部分の断面修復工事

鉄筋の腐食によるかぶりコンクリート剥落部分や衝撃などによる欠損部分の修復に適しています。

03 | サーブの施工要領

- 1 施工面の浮き、脆弱箇所、油性分を除去します。
- 2 鉄筋部分は錆を落とし、防錆剤を塗布します。
- 3 下地コンクリートを十分に水洗いし、湿潤状態に保って下さい。下地コンクリートの施工面積が大きくまた吸水の激しい箇所では、専用プライマーを塗布して下さい。
- 4 ミキサーにサーブ15Dを投入し、練混ぜ水を注入後、約3～5分間練混ぜして下さい。
- 5 コテ塗り施工の場合は、下地に3～5mm厚みでサーブ15Dをしごき塗りして下さい。
- 6 吹付け施工の場合は、材料に適したモルタルポンプ、コンプレッサー、吹付けガンを使用して作業を行って下さい。一層の吹付け厚は20～30mm以下程度として下さい。
- 7 2層目以降の施工は、前層のモルタルの締め具合を確認後、塗り重ねて下さい。
- 8 施工後は直射日光、風等が当たらないようにシートがけ養生等を行って下さい。また、冬期は保温養生を心がけて下さい。



【吹付けシステム例】

機械名	サーブ15・15Dの仕様
発動発電機	定格出力 25KVA
コンプレッサー	吐出量 2.0m ³ /min
モルタルミキサー	練上り量 80～100ℓ
モルタルポンプ	吐出量 5ℓ/min
水タンク	1.0m ³

〈サーブ15〉の標準配合

	水/ サーブ15	配合量		練上り量
		サーブ15	水	
1袋配合	16%	1袋 (20kg)	3.2ℓ	約11.0ℓ
1m ² 配合		89袋 (1,780kg)	285ℓ	

※気温等により水量は多少変動(3.0～3.4ℓ/袋)致します。

〈サーブ15D〉の標準配合

	水/ サーブ15D	配合量		練上り量
		サーブ15D	水	
1袋配合	16%	1袋 (20kg)	3.2ℓ	約10.8ℓ
1m ² 配合		93袋 (1,860kg)	298ℓ	

※気温等により水量は多少変動(3.0～3.4ℓ/袋)致します。

04 | サーブの施工例

〈サーブ15〉



主桁側面増厚補強



床版下面増厚補強

〈サーブ15D〉



道路トンネル吹付け施工



水路トンネルコテ塗り施工



主桁底面増厚補強



張出床版下面増厚補強



橋脚吹付け施工(耐震補強工)



側壁吹付け施工